

ダイワ・オーストラリア 高配当株α（毎月分配型）

株式αコース

通貨αコース

株式&通貨ツインαコース

運用報告書（全体版）

第90期（決算日 2020年8月17日）

第91期（決算日 2020年9月17日）

第92期（決算日 2020年10月19日）

第93期（決算日 2020年11月17日）

第94期（決算日 2020年12月17日）

第95期（決算日 2021年1月18日）

（作成対象期間 2020年7月18日～2021年1月18日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2013年1月23日～2023年1月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	株式αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	株式&通貨ツインαコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、予想配当利回りの高いオーストラリア株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5747>

<5748>

<5749>

株式αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
66期末(2018年8月17日)	5,367	90	△ 2.0	11,386	△ 2.1	—	98.5	302
67期末(2018年9月18日)	5,223	90	△ 1.0	11,072	△ 2.8	—	95.5	333
68期末(2018年10月17日)	4,914	60	△ 4.8	10,530	△ 4.9	—	98.4	311
69期末(2018年11月19日)	4,912	60	1.2	10,566	0.3	—	98.4	309
70期末(2018年12月17日)	4,698	60	△ 3.1	10,186	△ 3.6	—	99.0	280
71期末(2019年1月17日)	4,558	60	△ 1.7	10,186	0.0	—	98.8	271
72期末(2019年2月18日)	4,614	60	2.5	10,714	5.2	—	95.4	260
73期末(2019年3月18日)	4,654	60	2.2	10,913	1.9	—	98.4	261
74期末(2019年4月17日)	4,720	60	2.7	11,269	3.3	—	98.4	262
75期末(2019年5月17日)	4,437	60	△ 4.7	10,714	△ 4.9	—	98.4	246
76期末(2019年6月17日)	4,366	60	△ 0.2	10,946	2.2	—	98.4	243
77期末(2019年7月17日)	4,407	60	2.3	11,281	3.1	—	98.4	244
78期末(2019年8月19日)	4,009	60	△ 7.7	10,328	△ 8.4	—	98.4	205
79期末(2019年9月17日)	4,260	60	7.8	11,074	7.2	—	98.5	219
80期末(2019年10月17日)	4,140	60	△ 1.4	11,112	0.3	—	98.3	208
81期末(2019年11月18日)	4,186	40	2.1	11,266	1.4	—	98.2	211
82期末(2019年12月17日)	4,244	40	2.3	11,527	2.3	—	98.3	210
83期末(2020年1月17日)	4,284	40	1.9	11,973	3.9	—	98.3	194
84期末(2020年2月17日)	4,095	40	△ 3.5	11,749	△ 1.9	—	99.0	186
85期末(2020年3月17日)	2,570	40	△36.3	7,275	△38.1	—	98.2	116
86期末(2020年4月17日)	2,698	40	6.5	8,319	14.4	—	98.0	122
87期末(2020年5月18日)	2,703	40	1.7	8,320	0.0	—	98.4	123
88期末(2020年6月17日)	3,079	40	15.4	9,807	17.9	—	97.7	142
89期末(2020年7月17日)	3,163	40	4.0	10,060	2.6	—	98.3	144
90期末(2020年8月17日)	3,233	40	3.5	10,483	4.2	—	98.7	147
91期末(2020年9月17日)	3,177	40	△ 0.5	10,171	△ 3.0	—	99.2	138
92期末(2020年10月19日)	3,125	40	△ 0.4	10,327	1.5	—	97.8	135
93期末(2020年11月17日)	3,246	40	5.2	11,084	7.3	—	98.3	140
94期末(2020年12月17日)	3,358	40	4.7	11,695	5.5	—	99.5	139
95期末(2021年1月18日)	3,434	40	3.5	11,985	2.5	—	98.3	143

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

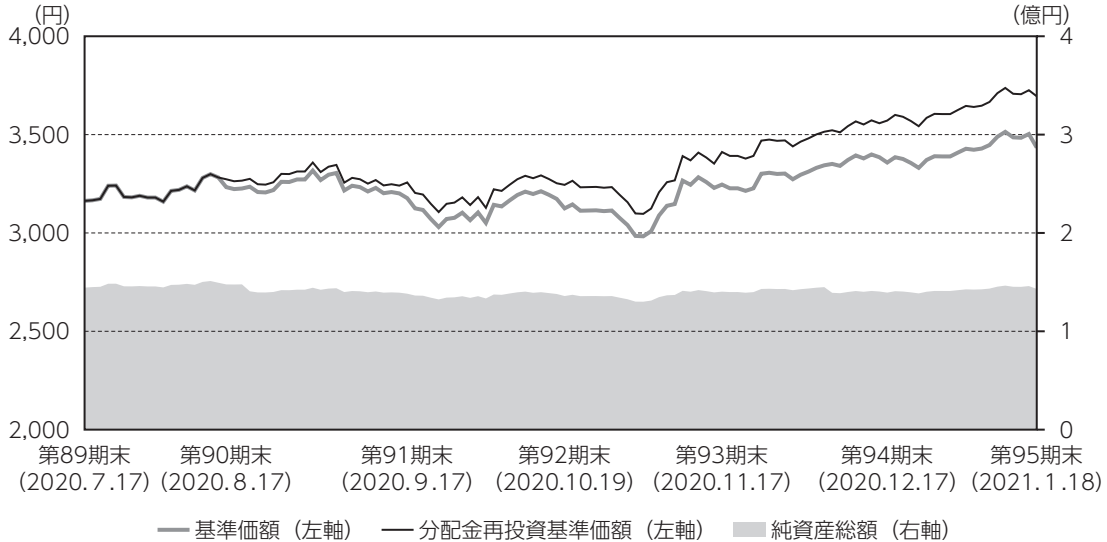
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第90期首：3,163円

第95期末：3,434円（既払分配金240円）

騰落率：16.8%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、上昇しました。株式オプション取引については、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第90期	(期首)2020年7月17日	円 3,163	% -	10,060	% -	% -	% 98.3
	7月末	3,180	0.5	10,192	1.3	-	98.0
	(期末)2020年8月17日	3,273	3.5	10,483	4.2	-	98.7
第91期	(期首)2020年8月17日	3,233	-	10,483	-	-	98.7
	8月末	3,272	1.2	10,520	0.3	-	98.0
	(期末)2020年9月17日	3,217	△0.5	10,171	△3.0	-	99.2
第92期	(期首)2020年9月17日	3,177	-	10,171	-	-	99.2
	9月末	3,103	△2.3	10,041	△1.3	-	98.8
	(期末)2020年10月19日	3,165	△0.4	10,327	1.5	-	97.8
第93期	(期首)2020年10月19日	3,125	-	10,327	-	-	97.8
	10月末	2,985	△4.5	9,800	△5.1	-	98.2
	(期末)2020年11月17日	3,286	5.2	11,084	7.3	-	98.3
第94期	(期首)2020年11月17日	3,246	-	11,084	-	-	98.3
	11月末	3,302	1.7	11,346	2.4	-	98.2
	(期末)2020年12月17日	3,398	4.7	11,695	5.5	-	99.5
第95期	(期首)2020年12月17日	3,358	-	11,695	-	-	99.5
	12月末	3,409	1.5	11,805	0.9	-	99.3
	(期末)2021年1月18日	3,474	3.5	11,985	2.5	-	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.7.18~2021.1.18)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2020年10月にかけて、オーストラリア政府が企業支援に重点を置いた予算案を公表したことなどがプラス材料となった一方、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大したことなどがマイナス材料となり、一進一退の展開となりました。11月に入ると、米国大統領選挙が無事に終了して政治面での不透明感が払拭されたことや、新型コロナウイルスワクチンの治験で良好な結果が示されたことなどを背景に上昇しました。当作成期末にかけては、米国における追加経済対策の成立や、英国とEU（欧州連合）の間の通商交渉合意などを受けて続伸しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2020年10月にかけての豪ドル対円為替相場は、RBA（オーストラリア準備銀行）による追加金融緩和観測が高まったことや、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大して市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、弱含んで推移しました。11月から当作成期末にかけては、米国大統領選挙が無事に終了して政治面での不透明感が払しょくされたことや、新型コロナウイルスのワクチンに高い有効性が認められたとの報道を受けて市場のリスク選好姿勢が強まり、上昇しました。オーストラリア国内で発表された雇用統計が堅調な内容だったことなども、円安豪ドル高を後押ししました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.7.18~2021.1.18)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

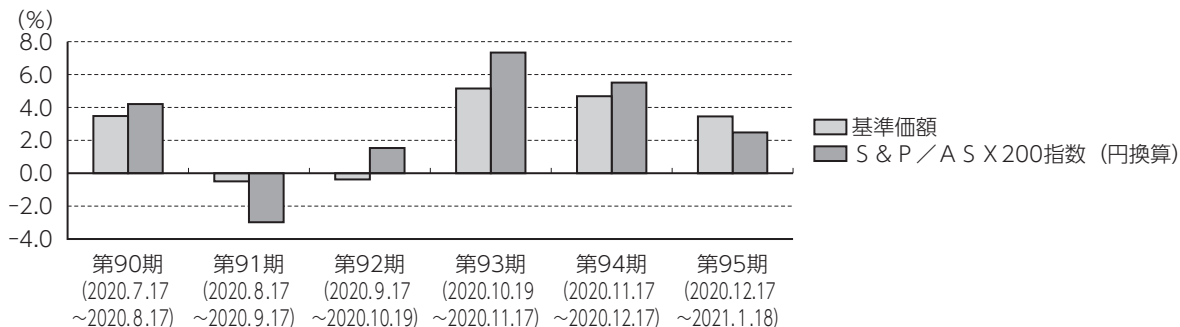
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2020年7月18日 ～2020年8月17日	2020年8月18日 ～2020年9月17日	2020年9月18日 ～2020年10月19日	2020年10月20日 ～2020年11月17日	2020年11月18日 ～2020年12月17日	2020年12月18日 ～2021年1月18日
当期分配金（税込み）（円）	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率（%）	1.22	1.24	1.26	1.22	1.18	1.15
当期の収益（円）	35	33	31	33	36	38
当期の収益以外（円）	4	6	8	6	3	1
翌期繰越分配対象額（円）	448	441	433	427	424	422

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 35.09円	✓ 33.59円	✓ 31.98円	✓ 33.50円	✓ 36.87円	✓ 38.05円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 453.02	✓ 448.13	✓ 441.73	✓ 433.72	✓ 427.24	✓ 424.21
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	488.12	481.72	473.71	467.22	464.12	462.26
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	448.12	441.72	433.71	427.22	424.12	422.26

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2020.7.18～2021.1.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0.684%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,243円です。
(投 信 会 社)	(7)	(0.222)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.446)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	22	0.687	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

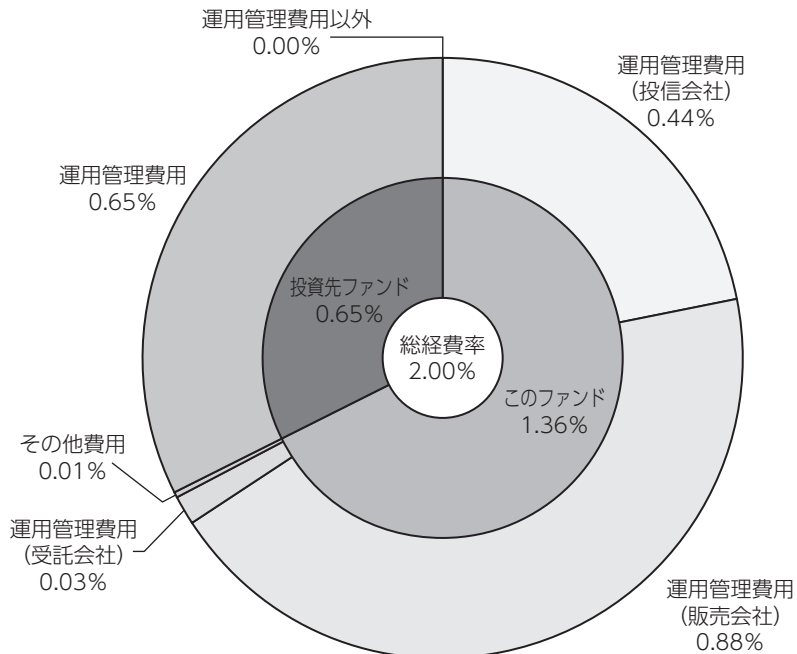
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



総経費率 (①+②+③)	2.00%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年7月18日から2021年1月18日まで)

決算期	第 90 期 ~ 第 95 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	302,50416	10,623	707,71295	25,323

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年7月18日から2021年1月18日まで)

第 90 期				~	第 95 期			
買 付				売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千□	千円	円		千□	千円	円	
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	29,22438	1,000	34	AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	707,71295	25,323	35	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 95 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS)	千□ 3,700,3254	千円 140,590	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 95 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年1月18日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 140,590	% 97.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.1
コール・ローン等、その他	4,250	2.9
投資信託財産総額	144,940	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年8月17日)、(2020年9月17日)、(2020年10月19日)、(2020年11月17日)、(2020年12月17日)、(2021年1月18日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	150,630,667円	140,140,088円	137,916,731円	142,191,826円	141,172,085円	144,940,686円
コール・ローン等	4,788,767	2,877,263	4,971,575	4,134,569	2,459,023	4,250,651
投資信託受益証券(評価額)	145,742,018	137,162,943	132,845,274	137,957,385	138,613,190	140,590,163
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,882	99,882	99,882	99,872	99,872	99,872
(B) 負債	2,956,751	1,908,670	2,064,658	1,886,540	1,826,853	1,852,265
未払収益分配金	1,826,801	1,740,514	1,738,813	1,728,908	1,659,688	1,666,902
未払解約金	959,838	3,198	160,901	7,796	5,103	10,476
未払信託報酬	169,100	162,958	161,983	146,004	157,287	169,100
その他未払費用	1,012	2,000	2,961	3,832	4,775	5,787
(C) 純資産総額(A-B)	147,673,916	138,231,418	135,852,073	140,305,286	139,345,232	143,088,421
元本	456,700,480	435,128,639	434,703,408	432,227,240	414,922,014	416,725,718
次期繰越増益金	△309,026,564	△296,897,221	△298,851,335	△291,921,954	△275,576,782	△273,637,297
(D) 受益権総口数	456,700,480口	435,128,639口	434,703,408口	432,227,240口	414,922,014口	416,725,718口
1万口当り基準価額(C/D)	3,233円	3,177円	3,125円	3,246円	3,358円	3,434円

* 第89期末における元本額は456,587,853円、当作成期間(第90期~第95期)中における追加設定元本額は12,334,359円、同解約元本額は52,196,494円です。

* 第95期末の計算口数当りの純資産額は3,434円です。

* 第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は273,637,297円です。

■損益の状況

第90期 自2020年7月18日 至2020年8月17日 第93期 自2020年10月20日 至2020年11月17日
 第91期 自2020年8月18日 至2020年9月17日 第94期 自2020年11月18日 至2020年12月17日
 第92期 自2020年9月18日 至2020年10月19日 第95期 自2020年12月18日 至2021年1月18日

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	1,657,069円	1,625,551円	1,553,390円	1,478,668円	1,568,565円	1,641,951円
受取配当金	1,657,135	1,625,690	1,553,418	1,478,708	1,568,632	1,641,961
受取利息	4	1	-	-	-	-
支払利息	△70	△140	△28	△40	△67	△10
(B) 有価証券売買損益	3,544,165	△2,188,628	△1,889,459	5,624,729	4,904,268	3,322,360
売買益	3,571,359	17,661	1	5,621,464	5,004,137	3,324,482
売買損	△27,194	△2,206,289	△1,889,460	3,265	△99,869	△2,122
(C) 信託報酬等	△170,112	△163,946	△162,953	△146,875	△158,230	△170,112
(D) 当期損益(A+B+C)	5,031,122	△727,023	△499,022	6,956,522	6,314,603	4,794,199
(E) 前期繰越増益金	△185,613,641	△173,001,881	△174,133,277	△174,398,781	△161,497,581	△156,557,580
(F) 追加信託差損益金	△126,617,244	△121,427,803	△122,480,223	△122,750,787	△118,734,116	△120,207,014
(配当等相当額)	(20,689,897)	(19,499,616)	(19,202,316)	(18,746,670)	(17,727,155)	(17,678,161)
(売買損益相当額)	(△147,307,141)	(△140,927,419)	(△141,682,539)	(△141,497,457)	(△136,461,271)	(△137,885,175)
(G) 合計(D+E+F)	△307,199,763	△295,156,707	△297,112,522	△290,193,046	△273,917,094	△271,970,395
(H) 収益分配金	△1,826,801	△1,740,514	△1,738,813	△1,728,908	△1,659,688	△1,666,902
次期繰越増益金(G+H)	△309,026,564	△296,897,221	△298,851,335	△291,921,954	△275,576,782	△273,637,297
追加信託差損益金	△126,841,174	△121,706,715	△122,828,599	△123,031,606	△118,863,578	△120,288,238
(配当等相当額)	(20,465,967)	(19,220,704)	(18,853,940)	(18,465,851)	(17,597,693)	(17,596,937)
(売買損益相当額)	(△147,307,141)	(△140,927,419)	(△141,682,539)	(△141,497,457)	(△136,461,271)	(△137,885,175)
繰越増益金	△182,185,390	△175,190,506	△176,022,736	△168,890,348	△156,713,204	△153,349,059

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,602,871円	1,461,602円	1,390,437円	1,448,089円	1,530,226円	1,585,678円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	20,689,897	19,499,616	19,202,316	18,746,670	17,727,155	17,678,161
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	22,292,768	20,961,218	20,592,753	20,194,759	19,257,381	19,263,839
(f) 分配金	1,826,801	1,740,514	1,738,813	1,728,908	1,659,688	1,666,902
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	20,465,967	19,220,704	18,853,940	18,465,851	17,597,693	17,596,937
(h) 受益権総口数	456,700,480口	435,128,639口	434,703,408口	432,227,240口	414,922,014口	416,725,718口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
1 万口当り分配金	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
66期末(2018年8月17日)	7,018	90	△ 0.1	11,386	△ 2.1	80.51	△ 3.4	—	98.5	795
67期末(2018年9月18日)	6,766	90	△ 2.3	11,072	△ 2.8	80.10	△ 0.5	—	97.8	799
68期末(2018年10月17日)	6,325	90	△ 5.2	10,530	△ 4.9	80.27	0.2	—	98.4	758
69期末(2018年11月19日)	6,248	90	0.2	10,566	0.3	82.50	2.8	—	97.4	776
70期末(2018年12月17日)	6,013	90	△ 2.3	10,186	△ 3.6	81.36	△ 1.4	—	98.6	835
71期末(2019年1月17日)	5,915	90	△ 0.1	10,186	0.0	78.11	△ 4.0	—	98.6	814
72期末(2019年2月18日)	6,033	90	3.5	10,714	5.2	79.03	1.2	—	99.1	857
73期末(2019年3月18日)	6,196	90	4.2	10,913	1.9	79.08	0.1	—	98.1	960
74期末(2019年4月17日)	6,230	90	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	—	98.4	991
75期末(2019年5月17日)	5,999	90	△ 2.3	10,714	△ 4.9	75.76	△ 5.7	—	98.4	943
76期末(2019年6月17日)	6,044	90	2.3	10,946	2.2	74.73	△ 1.4	—	98.4	904
77期末(2019年7月17日)	6,071	90	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	—	98.3	987
78期末(2019年8月19日)	5,578	90	△ 6.6	10,328	△ 8.4	72.15	△ 5.1	—	98.4	931
79期末(2019年9月17日)	5,947	90	8.2	11,074	7.2	74.25	2.9	—	98.4	1,007
80期末(2019年10月17日)	5,831	90	△ 0.4	11,112	0.3	73.81	△ 0.6	—	99.2	996
81期末(2019年11月18日)	5,901	60	2.2	11,266	1.4	74.20	0.5	—	98.4	980
82期末(2019年12月17日)	5,970	60	2.2	11,527	2.3	75.30	1.5	—	98.4	952
83期末(2020年1月17日)	6,046	60	2.3	11,973	3.9	76.08	1.0	—	98.4	923
84期末(2020年2月17日)	5,918	60	△ 1.1	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	—	98.1	899
85期末(2020年3月17日)	3,641	60	△ 37.5	7,275	△ 38.1	65.08	△ 11.7	—	98.0	555
86期末(2020年4月17日)	3,850	60	7.4	8,319	14.4	68.73	5.6	—	98.0	540
87期末(2020年5月18日)	3,843	60	1.4	8,320	0.0	68.88	0.2	—	98.4	541
88期末(2020年6月17日)	4,302	60	13.5	9,807	17.9	73.85	7.2	—	97.8	605
89期末(2020年7月17日)	4,413	60	4.0	10,060	2.6	74.89	1.4	—	98.5	624
90期末(2020年8月17日)	4,537	60	4.2	10,483	4.2	76.57	2.2	—	98.5	641
91期末(2020年9月17日)	4,425	60	△ 1.1	10,171	△ 3.0	76.41	△ 0.2	—	98.4	599
92期末(2020年10月19日)	4,393	60	0.6	10,327	1.5	74.81	△ 2.1	—	99.1	577
93期末(2020年11月17日)	4,569	60	5.4	11,084	7.3	76.49	2.2	—	98.6	578
94期末(2020年12月17日)	4,795	60	6.3	11,695	5.5	78.35	2.4	—	98.4	594
95期末(2021年1月18日)	4,905	60	3.5	11,985	2.5	79.86	1.9	—	98.5	589

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

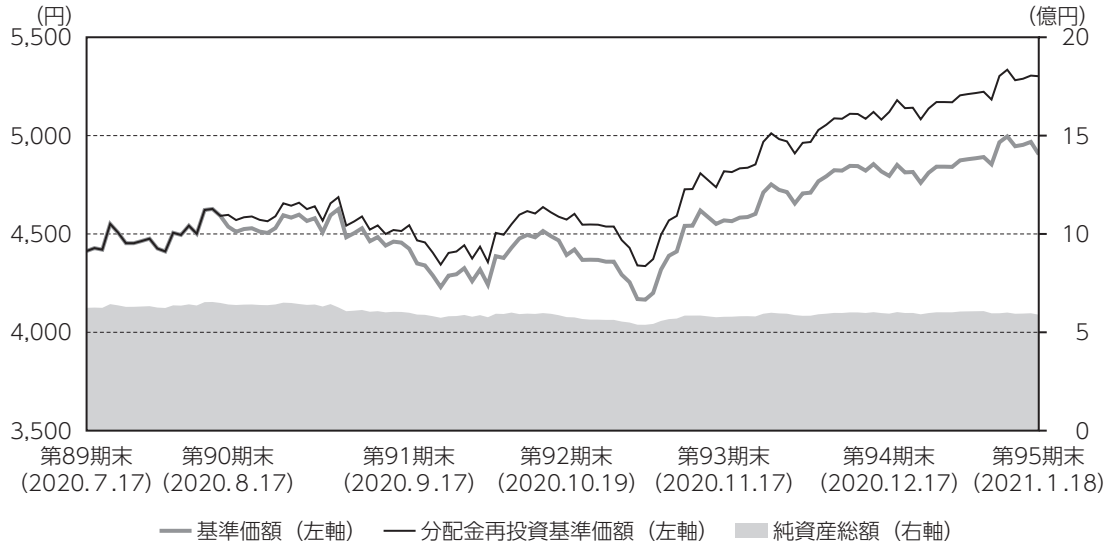
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第90期首：4,413円

第95期末：4,905円（既払分配金360円）

騰落率：20.1%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）については、オーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、上昇しました。通貨オプション取引については、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 通貨αコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	(円 換 算) 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第90期	(期首)2020年7月17日	円 4,413	% -	10,060	% -	円 74.89	% -	% -	% 98.5
	7月末	4,476	1.4	10,192	1.3	75.37	0.6	-	98.6
	(期末)2020年8月17日	4,597	4.2	10,483	4.2	76.57	2.2	-	98.5
第91期	(期首)2020年8月17日	4,537	-	10,483	-	76.57	-	-	98.5
	8月末	4,566	0.6	10,520	0.3	77.50	1.2	-	99.5
	(期末)2020年9月17日	4,485	△1.1	10,171	△3.0	76.41	△0.2	-	98.4
第92期	(期首)2020年9月17日	4,425	-	10,171	-	76.41	-	-	98.4
	9月末	4,326	△2.2	10,041	△1.3	75.49	△1.2	-	98.0
	(期末)2020年10月19日	4,453	0.6	10,327	1.5	74.81	△2.1	-	99.1
第93期	(期首)2020年10月19日	4,393	-	10,327	-	74.81	-	-	99.1
	10月末	4,169	△5.1	9,800	△5.1	73.57	△1.7	-	99.0
	(期末)2020年11月17日	4,629	5.4	11,084	7.3	76.49	2.2	-	98.6
第94期	(期首)2020年11月17日	4,569	-	11,084	-	76.49	-	-	98.6
	11月末	4,713	3.2	11,346	2.4	76.91	0.5	-	99.1
	(期末)2020年12月17日	4,855	6.3	11,695	5.5	78.35	2.4	-	98.4
第95期	(期首)2020年12月17日	4,795	-	11,695	-	78.35	-	-	98.4
	12月末	4,874	1.6	11,805	0.9	78.84	0.6	-	98.3
	(期末)2021年1月18日	4,965	3.5	11,985	2.5	79.86	1.9	-	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.7.18~2021.1.18)

■ オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2020年10月にかけて、オーストラリア政府が企業支援に重点を置いた予算案を公表したことなどがプラス材料となった一方、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大したことなどがマイナス材料となり、一進一退の展開となりました。11月に入ると、米国大統領選挙が無事に終了して政治面での不透明感が払拭されたことや、新型コロナウイルスワクチンの治験で良好な結果が示されたことなどを背景に上昇しました。当作成期末にかけては、米国における追加経済対策の成立や、英国とEU（欧州連合）の間の通商交渉合意などを受けて続伸しました。

■ 為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2020年10月にかけての豪ドル対円為替相場は、RBA（オーストラリア準備銀行）による追加金融緩和観測が高まったことや、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大して市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、弱含んで推移しました。11月から当作成期末にかけては、米国大統領選挙が無事に終了して政治面での不透明感が払しょくされたことや、新型コロナウイルスのワクチンに高い有効性が認められたとの報道を受けて市場のリスク選好姿勢が強まり、上昇しました。オーストラリア国内で発表された雇用統計が堅調な内容だったことなども、円安豪ドル高を後押ししました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.7.18~2021.1.18)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

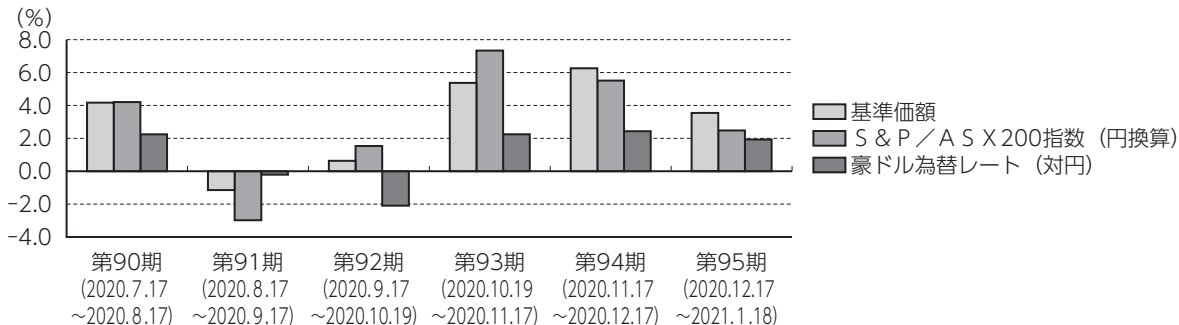
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2020年7月18日 ～2020年8月17日	2020年8月18日 ～2020年9月17日	2020年9月18日 ～2020年10月19日	2020年10月20日 ～2020年11月17日	2020年11月18日 ～2020年12月17日	2020年12月18日 ～2021年1月18日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（%）	1.31	1.34	1.35	1.30	1.24	1.21
当期の収益（円）	50	48	44	47	52	54
当期の収益以外（円）	9	11	15	12	7	5
翌期繰越分配対象額（円）	886	875	859	847	840	834

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 50.05円	✓ 48.75円	✓ 44.60円	✓ 47.27円	✓ 52.97円	✓ 54.15円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 896.47	✓ 886.53	✓ 875.29	✓ 859.89	✓ 847.17	✓ 840.15
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	946.53	935.29	919.89	907.17	900.15	894.31
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	886.53	875.29	859.89	847.17	840.15	834.31

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2020.7.18～2021.1.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.684%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,567円です。
（投 信 会 社）	(10)	(0.222)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(20)	(0.446)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	31	0.688	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

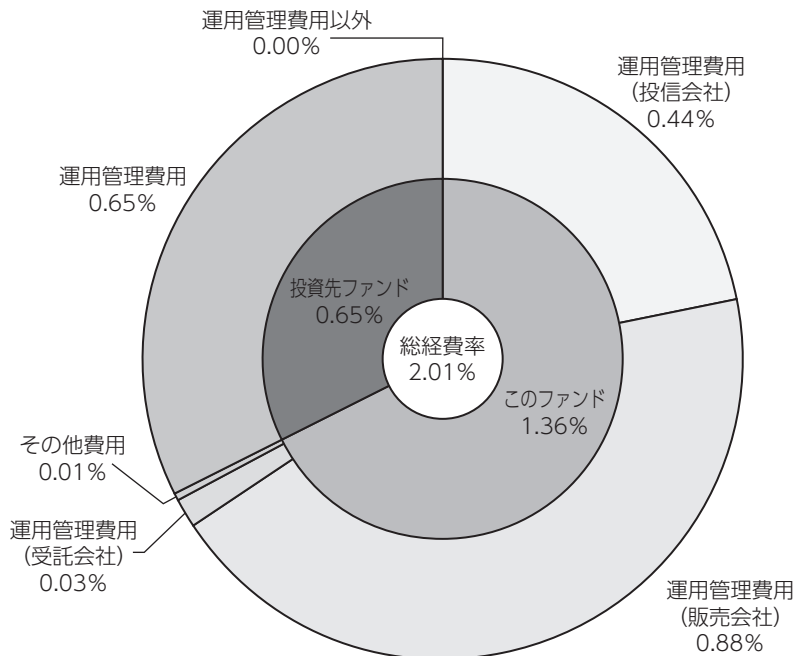
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



総経費率 (①+②+③)	2.01%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年7月18日から2021年1月18日まで)

決算期	第 90 期 ~ 第 95 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	943,28483	44,226	3,141,46326	150,545

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年7月18日から2021年1月18日まで)

第 90 期				第 95 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円		千□	千円	円
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	66,67556	3,000	44	AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	3,141,46326	150,545	47

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 95 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)	千□ 11,253,55208	千円 580,694	% 98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 95 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年1月18日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 580,694	% 97.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	16,597	2.8
投資信託財産総額	597,391	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年8月17日)、(2020年9月17日)、(2020年10月19日)、(2020年11月17日)、(2020年12月17日)、(2021年1月18日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	650,581,875円	608,191,198円	590,103,491円	587,111,336円	602,951,174円	597,391,417円
コール・ローン等	18,952,234	18,467,914	18,002,105	16,158,999	17,684,582	16,597,005
投資信託受益証券(評価額)	631,529,759	589,623,402	572,001,504	570,852,465	585,166,720	580,694,540
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,882	99,882	99,882	99,872	99,872	99,872
(B) 負債	9,222,668	8,861,582	12,906,356	8,224,808	8,127,192	7,952,120
未払収益分配金	8,481,690	8,125,825	7,883,359	7,601,867	7,443,595	7,209,878
未払解約金	4,608	4,448	4,312,431	314	4,948	5,100
未払信託報酬	731,920	722,423	697,492	605,870	657,897	712,069
その他未払費用	4,450	8,886	13,074	16,757	20,752	25,073
(C) 純資産総額(A-B)	641,359,207	599,329,616	577,197,135	578,886,528	594,823,982	589,439,297
元本	1,413,615,149	1,354,304,205	1,313,893,217	1,266,977,936	1,240,599,290	1,201,646,466
次期繰越増損金	△ 772,255,942	△ 754,974,589	△ 736,696,082	△ 688,091,408	△ 645,775,308	△ 612,207,169
(D) 受益権総口数	1,413,615,149口	1,354,304,205口	1,313,893,217口	1,266,977,936口	1,240,599,290口	1,201,646,466口
1万口当り基準価額(C/D)	4,537円	4,425円	4,393円	4,569円	4,795円	4,905円

* 第89期末における元本額は1,414,977,900円、当作成期間(第90期~第95期)中における追加設定元本額は17,535,358円、同解約元本額は230,866,792円です。

* 第95期末の計算口数当りの純資産額は4,905円です。

* 第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は612,207,169円です。

■損益の状況

第90期 自2020年7月18日 至2020年8月17日 第93期 自2020年10月20日 至2020年11月17日
 第91期 自2020年8月18日 至2020年9月17日 第94期 自2020年11月18日 至2020年12月17日
 第92期 自2020年9月18日 至2020年10月19日 第95期 自2020年12月18日 至2021年1月18日

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	7,276,235円	7,330,350円	6,562,276円	6,112,076円	6,695,234円	6,735,468円
受取配当金	7,276,520	7,330,851	6,562,559	6,112,224	6,695,494	6,735,675
受取利息	14	11	4	-	2	1
支払利息	△ 299	△ 512	△ 287	△ 148	△ 262	△ 208
(B) 有価証券売買損益	19,523,621	△ 13,597,585	△ 2,188,160	24,399,091	29,399,008	14,481,719
売買益	19,518,498	146,134	223,015	24,560,860	29,552,545	14,500,249
売買損	5,123	△ 13,743,719	△ 2,411,175	△ 161,769	△ 153,537	△ 18,530
(C) 信託報酬等	△ 736,370	△ 726,859	△ 701,728	△ 609,553	△ 661,892	△ 716,390
(D) 当期損益金(A+B+C)	26,063,486	△ 6,994,094	3,672,388	29,901,614	35,432,350	20,500,797
(E) 前期繰越増損金	△ 370,389,373	△ 336,090,536	△ 337,957,285	△ 327,425,987	△ 296,660,316	△ 258,976,037
(F) 追加信託差損益金	△ 419,448,365	△ 403,764,134	△ 394,527,826	△ 382,965,168	△ 377,103,747	△ 366,522,051
(配当等相当額)	(126,727,109)	(120,063,616)	(115,004,135)	(108,947,094)	(105,100,633)	(100,957,058)
(売買損益相当額)	(△ 546,175,474)	(△ 523,827,750)	(△ 509,531,961)	(△ 491,912,262)	(△ 482,204,380)	(△ 467,479,109)
(G) 合計(D+E+F)	△ 763,774,252	△ 746,848,764	△ 728,812,723	△ 680,489,541	△ 638,331,713	△ 604,997,291
(H) 収益分配金	△ 8,481,690	△ 8,125,825	△ 7,883,359	△ 7,601,867	△ 7,443,595	△ 7,209,878
次期繰越増損金(G+H)	△ 772,255,942	△ 754,974,589	△ 736,696,082	△ 688,091,408	△ 645,775,308	△ 612,207,169
追加信託差損益金	△ 420,853,745	△ 405,286,470	△ 396,550,637	△ 384,577,052	△ 377,974,889	△ 367,223,915
(配当等相当額)	(125,321,729)	(118,541,280)	(112,981,324)	(107,335,210)	(104,229,491)	(100,255,194)
(売買損益相当額)	(△ 546,175,474)	(△ 523,827,750)	(△ 509,531,961)	(△ 491,912,262)	(△ 482,204,380)	(△ 467,479,109)
繰越増損金	△ 351,402,197	△ 349,688,119	△ 340,145,445	△ 303,514,356	△ 267,800,419	△ 244,983,254

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,076,310円	6,603,489円	5,860,548円	5,989,983円	6,572,453円	6,508,014円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	126,727,109	120,063,616	115,004,135	108,947,094	105,100,633	100,957,058
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	133,803,419	126,667,105	120,864,683	114,937,077	111,673,086	107,465,072
(f) 分配金	8,481,690	8,125,825	7,883,359	7,601,867	7,443,595	7,209,878
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	125,321,729	118,541,280	112,981,324	107,335,210	104,229,491	100,255,194
(h) 受益権総口数	1,413,615,149口	1,354,304,205口	1,313,893,217口	1,266,977,936口	1,240,599,290口	1,201,646,466口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
1 万口当り分配金	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

株式&通貨ツインαコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (円換算)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
66期末(2018年8月17日)	3,583	70	△ 0.5	11,386	△ 2.1	80.51	△ 3.4	—	98.8	12,845
67期末(2018年9月18日)	3,469	70	△ 1.2	11,072	△ 2.8	80.10	△ 0.5	—	99.9	12,332
68期末(2018年10月17日)	3,290	45	△ 3.9	10,530	△ 4.9	80.27	0.2	—	98.2	11,865
69期末(2018年11月19日)	3,254	45	0.3	10,566	0.3	82.50	2.8	—	98.2	11,494
70期末(2018年12月17日)	3,149	45	△ 1.8	10,186	△ 3.6	81.36	△ 1.4	—	97.9	11,088
71期末(2019年1月17日)	3,075	45	△ 0.9	10,186	0.0	78.11	△ 4.0	—	98.6	10,799
72期末(2019年2月18日)	3,108	45	2.5	10,714	5.2	79.03	1.2	—	98.2	10,866
73期末(2019年3月18日)	3,142	45	2.5	10,913	1.9	79.08	0.1	—	98.9	10,602
74期末(2019年4月17日)	3,161	45	2.0	11,269	3.3	80.33	1.6	—	98.4	10,560
75期末(2019年5月17日)	3,047	45	△ 2.2	10,714	△ 4.9	75.76	△ 5.7	—	98.4	10,104
76期末(2019年6月17日)	3,014	45	0.4	10,946	2.2	74.73	△ 1.4	—	98.6	9,942
77期末(2019年7月17日)	3,026	45	1.9	11,281	3.1	76.01	1.7	—	98.4	9,964
78期末(2019年8月19日)	2,793	45	△ 6.2	10,328	△ 8.4	72.15	△ 5.1	—	98.5	9,146
79期末(2019年9月17日)	2,938	45	6.8	11,074	7.2	74.25	2.9	—	98.7	9,434
80期末(2019年10月17日)	2,896	45	0.1	11,112	0.3	73.81	△ 0.6	—	99.3	9,099
81期末(2019年11月18日)	2,918	30	1.8	11,266	1.4	74.20	0.5	—	98.7	9,024
82期末(2019年12月17日)	2,943	30	1.9	11,527	2.3	75.30	1.5	—	98.5	8,844
83期末(2020年1月17日)	2,968	30	1.9	11,973	3.9	76.08	1.0	—	98.7	8,771
84期末(2020年2月17日)	2,878	30	△ 2.0	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	—	98.7	8,266
85期末(2020年3月17日)	1,828	30	△35.4	7,275	△38.1	65.08	△11.7	—	97.9	5,155
86期末(2020年4月17日)	1,927	30	7.1	8,319	14.4	68.73	5.6	—	99.5	5,322
87期末(2020年5月18日)	1,933	30	1.9	8,320	0.0	68.88	0.2	—	98.4	5,316
88期末(2020年6月17日)	2,087	30	9.5	9,807	17.9	73.85	7.2	—	98.5	5,659
89期末(2020年7月17日)	2,144	30	4.2	10,060	2.6	74.89	1.4	—	98.6	5,740
90期末(2020年8月17日)	2,192	30	3.6	10,483	4.2	76.57	2.2	—	98.6	5,700
91期末(2020年9月17日)	2,154	30	△ 0.4	10,171	△ 3.0	76.41	△ 0.2	—	98.5	5,556
92期末(2020年10月19日)	2,139	30	0.7	10,327	1.5	74.81	△ 2.1	—	98.9	5,439
93期末(2020年11月17日)	2,205	30	4.5	11,084	7.3	76.49	2.2	—	98.7	5,522
94期末(2020年12月17日)	2,251	30	3.4	11,695	5.5	78.35	2.4	—	100.3	5,477
95期末(2021年1月18日)	2,267	30	2.0	11,985	2.5	79.86	1.9	—	99.7	5,391

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

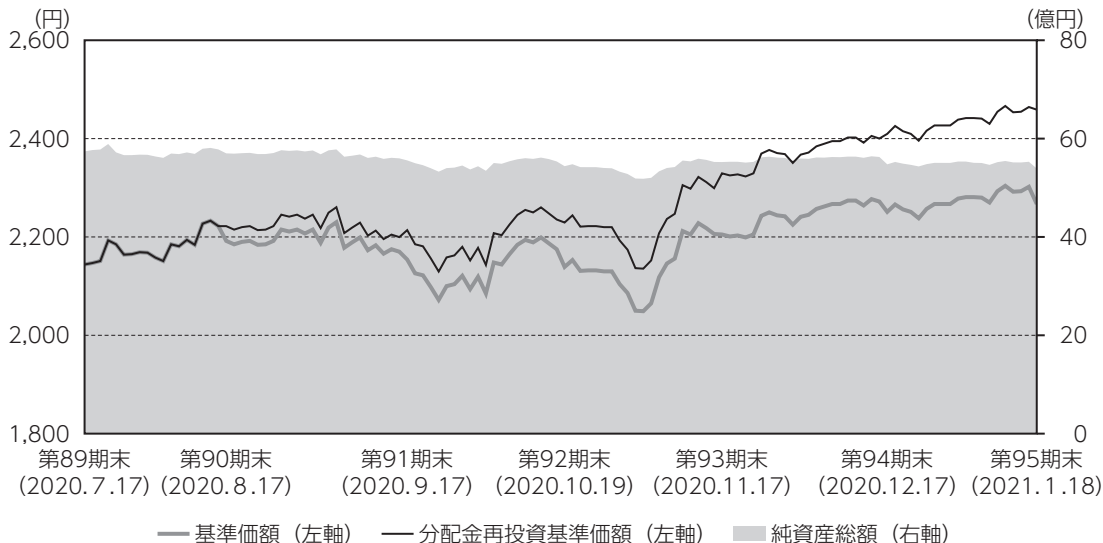
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第90期首：2,144円

第95期末：2,267円（既払分配金180円）

騰落率：14.7%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、上昇しました。オプション取引については、株式オプション、通貨オプションともにマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式&通貨ツインαコース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A	S X 200	豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	指 数 (参考指数)	(円 換 算) 騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第90期	(期首)2020年 7月17日	円 2,144	% -	10,060	% -	円 74.89	% -	% -	% 98.6
	7月末	2,168	1.1	10,192	1.3	75.37	0.6	-	98.7
	(期末)2020年 8月17日	2,222	3.6	10,483	4.2	76.57	2.2	-	98.6
第91期	(期首)2020年 8月17日	2,192	-	10,483	-	76.57	-	-	98.6
	8月末	2,207	0.7	10,520	0.3	77.50	1.2	-	98.7
	(期末)2020年 9月17日	2,184	△0.4	10,171	△3.0	76.41	△0.2	-	98.5
第92期	(期首)2020年 9月17日	2,154	-	10,171	-	76.41	-	-	98.5
	9月末	2,121	△1.5	10,041	△1.3	75.49	△1.2	-	98.9
	(期末)2020年10月19日	2,169	0.7	10,327	1.5	74.81	△2.1	-	98.9
第93期	(期首)2020年10月19日	2,139	-	10,327	-	74.81	-	-	98.9
	10月末	2,050	△4.2	9,800	△5.1	73.57	△1.7	-	99.3
	(期末)2020年11月17日	2,235	4.5	11,084	7.3	76.49	2.2	-	98.7
第94期	(期首)2020年11月17日	2,205	-	11,084	-	76.49	-	-	98.7
	11月末	2,242	1.7	11,346	2.4	76.91	0.5	-	98.9
	(期末)2020年12月17日	2,281	3.4	11,695	5.5	78.35	2.4	-	100.3
第95期	(期首)2020年12月17日	2,251	-	11,695	-	78.35	-	-	100.3
	12月末	2,278	1.2	11,805	0.9	78.84	0.6	-	98.7
	(期末)2021年 1月18日	2,297	2.0	11,985	2.5	79.86	1.9	-	99.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.7.18~2021.1.18)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2020年10月にかけて、オーストラリア政府が企業支援に重点を置いた予算案を公表したことなどがプラス材料となった一方、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大したことなどがマイナス材料となり、一進一退の展開となりました。11月に入ると、米国大統領選挙が無事に終了して政治面での不透明感が払拭されたことや、新型コロナウイルスワクチンの治験で良好な結果が示されたことなどを背景に上昇しました。当作成期末にかけては、米国における追加経済対策の成立や、英国とEU（欧州連合）の間の通商交渉合意などを受けて続伸しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2020年10月にかけての豪ドル対円為替相場は、RBA（オーストラリア準備銀行）による追加金融緩和観測が高まったことや、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大して市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、弱含んで推移しました。11月から当作成期末にかけては、米国大統領選挙が無事に終了して政治面での不透明感が払しょくされたことや、新型コロナウイルスのワクチンに高い有効性が認められたとの報道を受けて市場のリスク選好姿勢が強まり、上昇しました。オーストラリア国内で発表された雇用統計が堅調な内容だったことなども、円安豪ドル高を後押ししました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.7.18~2021.1.18)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

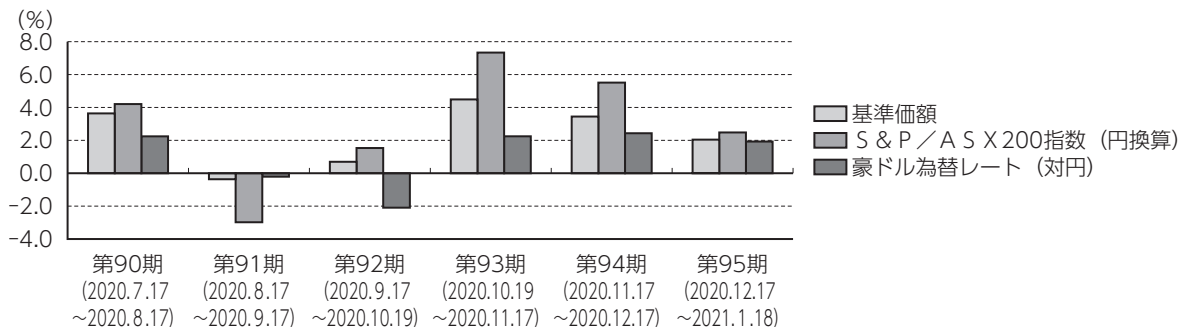
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2020年7月18日 ～2020年8月17日	2020年8月18日 ～2020年9月17日	2020年9月18日 ～2020年10月19日	2020年10月20日 ～2020年11月17日	2020年11月18日 ～2020年12月17日	2020年12月18日 ～2021年1月18日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（%）	1.35	1.37	1.38	1.34	1.32	1.31
当期の収益（円）	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	228	234	238	243	250	258

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 36.33円	✓ 35.35円	✓ 34.26円	✓ 34.47円	✓ 37.76円	✓ 37.41円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	59.54	60.12	60.72	61.37	62.01	62.64
(d) 分配準備積立金	163.11	168.86	173.61	177.23	181.07	188.20
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	258.98	264.34	268.60	273.08	280.84	288.26
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	228.98	234.34	238.60	243.08	250.84	258.26

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2020.7.18～2021.1.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	15円	0.682%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,196円です。
（投 信 会 社）	(5)	(0.221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(10)	(0.444)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	15	0.684	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

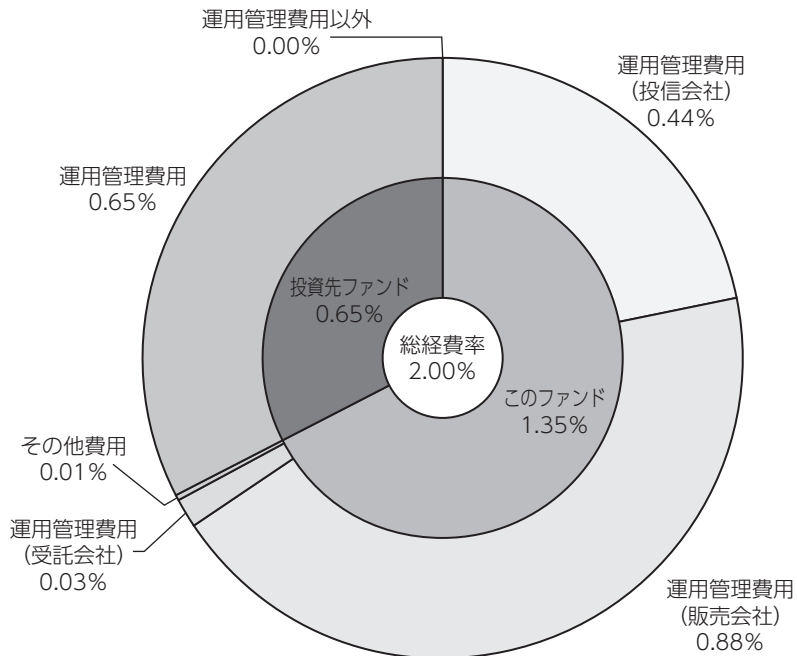
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



総経費率 (①+②+③)	2.00%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年7月18日から2021年1月18日まで)

決算期	第 90 期 ~ 第 95 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	25,899,87844	572,136	48,628,75166	1,084,712

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年7月18日から2021年1月18日まで)

第 90 期				第 95 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円		千□	千円	円
				AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	48,628,75166	1,084,712	22

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	第 95 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS)	千□ 233,988,95704	千円 5,375,194	% 99.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 95 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□ 982	千□ 982	千円 998

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年1月18日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 5,375,194	% 97.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	998	0.0
コール・ローン等、その他	156,832	2.9
投資信託財産総額	5,533,025	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年8月17日)、(2020年9月17日)、(2020年10月19日)、(2020年11月17日)、(2020年12月17日)、(2021年1月18日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	5,789,420,174円	5,641,213,163円	5,545,408,722円	5,615,091,445円	5,657,491,359円	5,533,025,459円
コール・ローン等	166,179,698	164,847,309	165,034,199	161,017,532	164,504,933	156,832,415
投資信託受益証券(評価額)	5,622,241,655	5,475,367,033	5,379,375,702	5,453,075,190	5,491,987,703	5,375,194,321
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	998,821	998,821	998,821	998,723	998,723	998,723
(B) 負債	89,409,195	84,332,178	106,364,181	92,118,394	180,419,319	141,266,804
未払収益分配金	78,001,786	77,377,179	76,272,332	75,132,685	72,990,189	71,361,818
未払解約金	4,766,024	328,610	23,468,373	11,032,098	101,019,360	63,134,055
未払信託報酬	6,601,150	6,545,986	6,503,693	5,798,486	6,216,755	6,538,070
その他未払費用	40,235	80,403	119,783	155,125	193,015	232,861
(C) 純資産総額(A-B)	5,700,010,979	5,556,880,985	5,439,044,541	5,522,973,051	5,477,072,040	5,391,758,655
元本	26,000,595,388	25,792,393,039	25,424,110,997	25,044,228,354	24,330,063,130	23,787,272,916
次期繰越増益金	△20,300,584,409	△20,235,512,054	△19,985,066,456	△19,521,255,303	△18,852,991,090	△18,395,514,261
(D) 受益権総口数	26,000,595,388口	25,792,393,039口	25,424,110,997口	25,044,228,354口	24,330,063,130口	23,787,272,916口
1万口当り基準価額(C/D)	2,192円	2,154円	2,139円	2,205円	2,251円	2,267円

* 第89期末における元本額は26,773,925,706円、当作成期間(第90期~第95期)中における追加設定元本額は534,263,626円、同解約元本額は3,520,916,416円です。

* 第95期末の計算口数当りの純資産額は2,267円です。

* 第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は18,395,514,261円です。

■損益の状況

第90期 自2020年7月18日 至2020年8月17日 第93期 自2020年10月20日 至2020年11月17日
 第91期 自2020年8月18日 至2020年9月17日 第94期 自2020年11月18日 至2020年12月17日
 第92期 自2020年9月18日 至2020年10月19日 第95期 自2020年12月18日 至2021年1月18日

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	97,543,201円	97,777,799円	93,649,339円	88,443,617円	94,989,274円	94,409,608円
受取配当金	97,545,874	97,781,742	93,651,803	88,445,129	94,991,427	94,411,342
受取利息	158	14	26	4	7	18
支払利息	△ 2,831	△ 3,957	△ 2,490	△ 1,516	△ 2,160	△ 1,752
(B) 有価証券売買損益	112,753,321	△ 111,299,168	△ 49,311,855	157,736,282	95,845,457	20,402,868
売買益	115,833,415	282,919	1,169,179	160,442,282	97,426,171	21,901,679
売買損	△ 3,080,094	△ 111,582,087	△ 50,481,034	△ 2,706,000	△ 1,580,714	△ 1,498,811
(C) 信託報酬等	△ 6,641,385	△ 6,586,154	△ 6,543,340	△ 5,833,828	△ 6,254,645	△ 6,577,916
(D) 当期損益金(A+B+C)	203,655,137	△ 20,107,523	37,794,144	240,346,071	184,580,086	108,234,560
(E) 前期繰越増益金	△12,170,163,502	△11,907,208,760	△11,792,455,945	△11,611,604,612	△11,081,066,963	△10,689,153,542
(F) 追加信託差損益金	△ 8,256,074,258	△ 8,230,818,592	△ 8,154,132,323	△ 8,074,864,077	△ 7,883,514,024	△ 7,743,233,461
(配当等相当額)	(154,809,715)	(155,072,953)	(154,389,181)	(153,710,334)	(150,876,629)	(149,005,679)
(売買損益相当額)	(△ 8,410,883,973)	(△ 8,385,891,545)	(△ 8,308,521,504)	(△ 8,228,574,411)	(△ 8,034,390,653)	(△ 7,892,239,140)
(G) 合計(D+E+F)	△20,222,582,623	△20,158,134,875	△19,908,794,124	△19,446,122,618	△18,780,000,901	△18,324,152,443
(H) 収益分配金	△ 78,001,786	△ 77,377,179	△ 76,272,332	△ 75,132,685	△ 72,990,189	△ 71,361,818
次期繰越増益金(G+H)	△20,300,584,409	△20,235,512,054	△19,985,066,456	△19,521,255,303	△18,852,991,090	△18,395,514,261
追加信託差損益金	△ 8,256,074,258	△ 8,230,818,592	△ 8,154,132,323	△ 8,074,864,077	△ 7,883,514,024	△ 7,743,233,461
(配当等相当額)	(154,809,715)	(155,072,953)	(154,389,181)	(153,710,334)	(150,876,629)	(149,005,679)
(売買損益相当額)	(△ 8,410,883,973)	(△ 8,385,891,545)	(△ 8,308,521,504)	(△ 8,228,574,411)	(△ 8,034,390,653)	(△ 7,892,239,140)
分配準備積立金	440,561,780	449,354,019	452,243,289	455,074,133	459,435,438	465,333,382
繰越増益金	△12,485,071,931	△12,454,047,481	△12,283,177,422	△11,901,465,359	△11,428,912,504	△11,117,614,182

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
(a) 経費控除後の配当等収益	94,462,905円	91,191,598円	87,105,975円	86,347,508円	91,875,689円	89,000,572円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	154,809,715	155,072,953	154,389,181	153,710,334	150,876,629	149,005,679
(d) 分配準備積立金	424,100,661	435,539,600	441,409,646	443,859,310	440,549,938	447,694,628
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	673,373,281	681,804,151	682,904,802	683,917,152	683,302,256	685,700,879
(f) 分配金	78,001,786	77,377,179	76,272,332	75,132,685	72,990,189	71,361,818
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	595,371,495	604,426,972	606,632,470	608,784,467	610,312,067	614,339,061
(h) 受益権総口数	26,000,595,388口	25,792,393,039口	25,424,110,997口	25,044,228,354口	24,330,063,130口	23,787,272,916口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期
1 万口当り分配金	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド
株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース／通貨αコース／株式&通貨ツインαコース）は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド 株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2021年1月18日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

貸借対照表

2019年12月31日

		(円)
資産		
担保付スワップ投資（評価額）（簿価：18,195,747,285円）		9,818,735,869
未収利息		5,744,940
資産計		9,824,480,809
負債		
未払償還金		110,000,000
未払報酬代行会社報酬		5,744,940
負債計		115,744,940
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産		9,708,735,869
帰属先別純資産	ツインαクラス受益証券	8,605,265,139
	通貨αクラス受益証券	912,690,910
	株式αクラス受益証券	190,779,820
発行済受益証券数	ツインαクラス受益証券	276,639,420
	通貨αクラス受益証券	15,001,731
	株式αクラス受益証券	4,132,792
受益証券一口当り純資産	ツインαクラス受益証券	31.106
	通貨αクラス受益証券	60.839
	株式αクラス受益証券	46.162

包括利益計算書

2019年12月31日終了年度

(円)

収入	
損益を通じて公正価値で測定される金融商品による純損益	
手数料収入	2,320,906,985
担保付スワップ投資純損失	(536,653,457)
投資純利益	1,784,253,528
収入計	1,784,253,528
営業費用	72,317,541
営業費用計	72,317,541
金融費用控除前営業損益	1,711,935,987
償還可能受益証券の保有者への分配金	(2,248,589,444)
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産変動額（分配金支払後）	(536,653,457)

当トラストが保有していた担保付スワップ投資

2019年12月31日時点

	簿価 (円)	評価額 (円)
ツインαクラス受益証券	16,790,068,512	8,715,265,139
通貨αクラス受益証券	1,098,110,554	912,690,910
株式αクラス受益証券	307,568,219	190,779,820
	18,195,747,285	9,818,735,869

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース／通貨αコース／株式&通貨ツインαコース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第95期の決算日（2021年1月18日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年7月18日～2021年1月18日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2021年1月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（65,173,742千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2021年1月18日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,975	% <1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

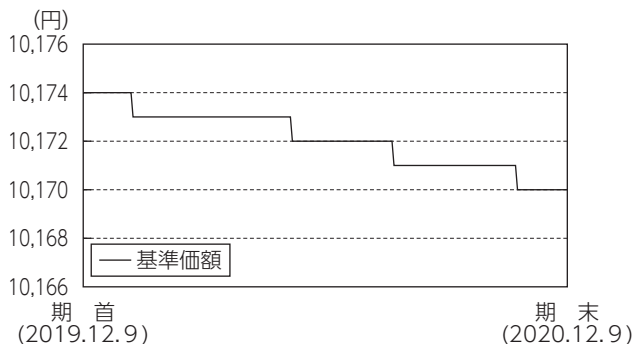
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2019年12月9日	円	%	%
	10,174	-	-
12月末	10,174	0.0	-
2020年1月末	10,173	△0.0	-
2月末	10,173	△0.0	-
3月末	10,173	△0.0	-
4月末	10,173	△0.0	-
5月末	10,172	△0.0	-
6月末	10,172	△0.0	-
7月末	10,172	△0.0	-
8月末	10,171	△0.0	-
9月末	10,171	△0.0	-
10月末	10,171	△0.0	-
11月末	10,170	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,170	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,174円 期末：10,170円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

その他有価証券

(2019年12月10日から2020年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国内短期社債等	242,997,393	242,997,453 ()

(注1) 金額は受渡し代金。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■ 組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期 末	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,970	% <1.5>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	68,466,438	100.0
投資信託財産総額	68,466,438	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	68,466,438,583円
コール・ローン等	67,466,468,172
現先取引(その他有価証券)	999,970,411
(B) 負債	1,000,488,000
未払解約金	1,000,488,000
(C) 純資産総額(A - B)	67,465,950,583
元本	66,337,383,629
次期繰越損益金	1,128,566,954
(D) 受益権総口数	66,337,383,629口
1万口当り基準価額(C/D)	10,170円

* 期首における元本額は82,259,129,638円、当作成期間中における追加設定元本額は106,172,802,530円、同解約元本額は122,094,548,539円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 531,632,690円、ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用) 4,718,749,101円、ダイワ・グローバル10T関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバル10T関連株ファンド -A I 新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワF Eグローバル・パリュエ (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワF Eグローバル・パリュエ (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/ "R I C I"® コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、スマート・アロケーション・Dガード99,008,902円、堅実バランスファンド -ハジメの歩- 569,302,583円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型) 983円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型) 983円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型) 983円、D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ4,455,466,034円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ミドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト- 1,988,495円、ブルベア・マネー・ポートフォリオV 37,213,381,442円、ブル3倍日本株ポートフォリオV 12,502,578,661円、ペア2倍日本株ポートフォリオV 5,944,161,915円、ダイワF Eグローバル・パリュエ株ファンド (ダイワS M A専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ミドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ

ノアムディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ47,833,280円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付) 部分為替ヘッジあり) 224,685,913円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) ミドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ979,761円、D Cスマート・アロケーション・Dガード11,929,087円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 両アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,170円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 26,744,855円
受取利息	309,257
支払利息	△ 27,054,112
(B) その他費用	△ 610,483
(C) 当期損益金(A + B)	△ 27,355,338
(D) 前期繰越損益金	1,431,737,066
(E) 解約差損益金	△2,104,683,137
(F) 追加信託差損益金	1,828,868,363
(G) 合計(C + D + E + F)	1,128,566,954
次期繰越損益金(G)	1,128,566,954

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。